

# 『命を守る行動とソナエ』上



県防災士会では、新聞紙やポリ袋などの身近なものを使用し、「防災グッズ」を製作する防災教室などを開催している

防災士は地域の防災リーダーとして、平時は防災・減災の啓発を行い、災害時には避難所の運営支援や被災地支援などのボランティア活動を担います。現在、県防災士会には約120人の会員が所属し、県内の五つの支部でそれぞれ活動しています。

当会の主な取り組みの一つは、自治体や学校などと連携して、防災訓練、防災講話、防災研修を開催することです。例えば小学生向けの企画では「身近なもので災害を乗り切る」をテーマに掲げ、新聞紙のスリッパやポリ袋のベストなどを工作しています。こう

## 防災ポーチで意識高める

したワークショップは、楽しみながら防災への知識が広がるため、小学生だけでなく大人からも人気があります。家庭で始められる防災の第一歩としては、避難の際に必要なものを収納した「防災ポーチ」の製作をおすすめします。作業を進めるなかで、「絶対に欠かせないものは何か」「地震や大雨のときは何が必要か」と考えが深まり、足りないものに気づくきっかけになります。自身が分流にカスタマイズされ、既存の防災セットより実用性が高くなるのも大きな利点です。

防災ポーチを充実させていく過程は、さらに容量が大きい「非常用持ち出し袋」の準備につながります。電気、ガス、水道の寸断に備える「備蓄品」をそろえる際も参考になります。まずは、使い慣れたばんそうこうや薬など、身近なものを小さな袋に入れることから始めてみましょう。



福島県防災士会理事  
藁谷 俊史 さん

毎月11日は  
いい11 備えの日

# #イイソナエ

キャンペーン

福島民友新聞社とふくしまFMが福島県と連携して展開する防災啓発特集「#イイソナエキャンペーン」。

本年度第6回のテーマは「命を守る行動とソナエ」です。福島県防災士会理事の藁谷俊史さんに、防災士の役割や災害から命を守る「備えの第一歩」について伺いました。

●企画・制作 / 福島民友新聞社営業局

福島民友 × ふくしまFM × 福島県



いざという時に慌てないために  
日ごろの備えはできていますか？



私たちは #イイソナエキャンペーン に協賛しています。

**TOYOTA L&F**

詳しくは  
コチラ

トヨタL&F  
公式YouTube  
チャンネル

<https://lf-fukushima.co.jp>

TOYOTA L&F 福島株式会社  
福島県郡山市字外河原8番地3  
TEL.(024)943-3051

**BATTERY SOLUTION**

バッテリーテクノロジーで、もっと自由な未来へ

**東洋システム株式会社**  
TOYO SYSTEM CO.,LTD.

〒972-8316 福島県いわき市常磐西郷町銭田106-1 TEL.0246-72-2151 / FAX.0246-72-2152

もしもの時に備えて！

屋外で気軽に上質の電気を、私が使う発電機 GV-SEシリーズ

KOSHIN インバーター発電機1600W  
GV-16SE  
82,800円(税込91,080円)

BPS-6L  
54,800円(税込60,280円)

DAIYU HOME CENTER  
ダイユーエイト

家が揺れても、人生は揺らないように。

地震への備えは、十分でしょうか。建物はもちろん、家財の被害にも備えておくと、日常を取り戻すのに役立ちます。

備えは、なるべくお早めに。

建物更生共済  
むてきプラザ  
建物更生共済  
My家財プラザ

資料請求は  
こちら

くらしの保障、相談するなら **JA共済**

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。どなたでもご相談いただけます。  
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp> 25079990179